

キャラクター名  プレイヤー名

シンドローム	ハヌマーン		ワークス	UGNエージェントD	カヴァー	喫茶店の店員
	オルクス					
オプション			年齢	30歳	性別	男性
覚醒	素体	衝動	嫌悪		初期侵食率	31%
出自	天涯孤独	経験	実験体		邂逅	慕情

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	27
肉体	1	0	1			2	行動値	9
感覚	2	0	0	1		3	(非装備時)	9
精神	2	0	1			3	戦闘移動	14
社会	3	1	1			5	全力移動	28

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	1		交渉	1	
回避			知覚	1		意志	1		調達	3	
運転:			芸術:コーヒー	1		知識:			情報:UGN	3	
運転:			芸術:紅茶	1		知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
銃えざる銃の囁き(ノット・スウィート・ヴォイス)	交渉	5r+1				要の陣形+導きの華+癒しの歌+エンジェルヴォイス
銃えざる銃の囁き(ノット・スウィート・ヴォイス)	交渉	5r+1				要の陣形+導きの華+癒しの歌+エンジェルヴォイス

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
医療トランク	
コネ:UGN幹部	
コネ:要人への貸し	
コネ:手配師	
フォーマル	
カジュアル	
アクセサリー	
携帯電話	
インカム	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
Dロイス:組織の助力P		N		
FHの研究者	P 執着	N 憎悪		
姫宮由佳里	P 慕情	N 疎外感		
*究剣凄鬼(シャドウブレイド) (シナリオロイス)	P 好奇心	N 恐怖		
宇治原 満 (PC間ロイス)	P 尽力	N 不安		
鳴神 刀奈	P 有為	N 嫌気		
Dr.リッパー (Sロイス)	P 信頼	N 不快感		

最大財産P: 16 残り財産P: 3

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
要の陣形	2	3	メジャー	-	3体	シンドローム	-	
効果: 組み合わせたエフェクト対象を3体に変更。シナリオLV回。								
導きの華	4	4	メジャー	視界	単体	自動成功	-	
効果: 対象の次のメジャーの判定達成値+LV×2。								
癒しの歌	2	2	メジャー	視界	単体	自動成功	-	
効果: 対象のHPをLVD+精神回復								
エンジェルヴォイス	2	4	メジャー	視界	単体	自動成功	-	
効果: 対象の次のメジャーのC値-1。ダイス+LV個。								
妖精の手	2	4	オート	視界	単体	自動成功	-	
効果: 対象のダイス目1つを10にする。1判定に1回。シナリオLV回。								
地獄耳	1	-	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果: 領域内の出来事を認識する。RCで判定も。								
彼方からの声	1	1	メジャー	視界	効果参照	自動	-	
効果: 雑踏の中で秘密の会話をするこも。								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

PC③ シナリオロイス: “究剣凄鬼(シャドウブレイド)” 推奨感情: 好奇心/恐怖  
カヴァー/ワークス: 推奨無し/UGNエージェント  
キミは凄腕のUGNエージェントだ。  
N市の裏社会の中にはキミを伝説の存在と考える者も居る。  
ある日、キミの前に “究剣凄鬼(シャドウブレイド)” と名乗る黒い仮面の男が現れた。  
「貴様の腕前、見せてもらおうぞ」  
その言葉とともに男の禍々しい剣がキミへと襲いかかる。

台詞「落ち着いて・・・貴方はやれば出来る人ですから・・・」

新月凍夜 (にいげつとうや) と申します。30歳のUGNエージェントであり、喫茶店の店員をしております。シンドロームはハヌマーン/オルクスのクロスブリードとなっています。

元々は一般的な生活を送っていましたが、ある日突然、レネゲイドウィルスが発症して暴走し、家族全員を失くしてしまいました。その後、倒れていた所を誰かに助けられたそうなのですが、どうやらその方はFHのエージェントだったらしく、そのままある研究所に運ばれてしまいました。

そこでは、発生させる音波によって相手を確実に洗脳させる研究が行われており、そこで私は『オーヴァード』として完全に覚醒させられ、「一定領域における人の洗脳、及び破壊を可能にする」という名目によって、私は実験体として苦しい日々を送られました。目の前で心が壊れていく人や、私の言葉1つで操られ、自ら命を落とす姿等を見て来たせいか、私の心は徐々に虚ろになっていきました。